

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	○	老人会とか、地域の行事にも機会をつくって、積極的に参加して行きたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	話し合い、取り組みは、まだ行われていない状況。	○	今後、老人会、自治会等、話し合いを持ち、職員の出来ることがあれば、取り組んでいきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価、外部評価は大変意義深く受け取っております。外部評価により、更に自分たちの理念に向かって、改善して、より良いサービスが出来るように取り組んでいます。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の運営が未だ、未完成である。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村主催のケアマネージャー会議等積極的に参加して連携を図って行きたい。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修等に参加し、職員に報告して活用できる様、努めています。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修等で学んだことを、職員に伝え、虐待の防止に取り組んでいます。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	理解していただける様、説明に気を使っています。疑問や相談に常に耳を傾けるように最善を図っています。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	より良く生活できる様、常に考慮しつつ、仕事に取り組んでいます。外部者からの意見は貴重な意見ですので、ぜひ運営に反映させたいと考えています。	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時、支払い時、受診等の状況の変化はその都度、報告しています。金銭管理も面会時、支払い時に報告し、出納帳のコピー等を渡しています。その時、小口現金の補充等もお願いしています。	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の意見、苦情、不満を真摯に受け止め、運営に反映させる様努めています。	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	意見提案があった時は、運営者と話し合いを持ち、反映に努めています。月1回、職員全員での定例会、運営委員会も開催して、職員の意見も反映させている。	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	対応が出来るよう、運営者と話し合いを持ち、調整に努めている。	
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動等は、利用者になんらかの不安を与えることになります。離職の際も、よく話を聞いて、事情を配慮し、なるべく良い結果につながるように、考慮しております。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	グループホームとデイサービスの事業を行っていますが、職員を他の部署での研修を行っています。終了後は研修報告書を提出させて、管理者、ホーム長の意見を記入し、今後にかかせる様に配慮しております。	
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の同業者との交流は未だありませんが、今後は交流の機会を持ちたいと考えております。サービスの質の向上を願っております。	
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	年に2回位職員と面接をして、現在の心境とか、聞いて、悩みなど抱えていないか、軽い気持ちで話を聞いています。アンケート等も記入してもらっています。	
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	業務評価チェックリストを作成し、自分なりの評価を記入してもらい、管理者の評価等を併せて業務の実績、状況等を把握できるかなと考え、今年度実施いたしました。	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	第一に話をすることが大事と考え、コミュニケーションをとることに努力をしています。話をする時はゆっくりと、あせらず、良く話を聞くこと、そして、信頼関係を作ることが大事と考えています。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族は手元から離れて暮らすことになるので、不安と今後のサービスはどうなのかとか、いろいろ相談があることと考えます。良く話を聞いて、今後の方針等、サービスの内容、心構え等、良く話して、信頼関係を作ることが大事と考えます。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	今何を求めているのか。今現在、どんなサービスを利用すれば家族も本人も、満足した生活が出来るのか。アドバイスも必要かと思われま。相談と支援に努めています。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	デイサービス又はグループホームを利用したい時は、まず、おためしで利用を勧めています。慣れていただかないと、本人も不安でいっぱいだと思います。いつでもコミュニケーションが大事です。安心していただくことが肝要と考えます。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	人生の先輩でもあります。何でも出来るし、分かってもいるのですが、忘れたり、思い出したりします。家族の一員でもある職員の立場を怠らず、常に一緒に生活している関係であることを重んじて業務に当たっております。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	誕生日会等は家族と一緒に祝うこともあります。父の日、母の日も家族も面会に来てくれますので一緒に写真を撮ったり、お話をしたりして、過ごしていただきます。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族が面会に来たときは、話の中に職員も一緒に入り込んで、日頃の生活の様子を聞かせる場面もあります。家族も喜んで、大笑いをしたりして、和やかに過ごしていただいています。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの床屋さん、パーマ屋さんに連れて行ってほしい。と要望があります。関係を大事にして、床屋さんや美容室へ行ってもらう気分転換していただきます。	○	一部の方に限定されず、馴染みの場所に外出する等、努めていきたい。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	世話好きの方もいらっしゃいますので、その方が中心となり、クラブ(書道とか)引っ張ってやってくれるので、とても良い関係です。目配り、気配りして、皆が気持ち盛り上がるように、元気な声で呼びかけたり、努めております。	○	職員等話し合いを持ち、関わり合いが良くなる様、努力、工夫をしている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	必要とする内容がある場合、連絡を取り合い、より良い関係を継続するよう努めています。	○	他施設へ移動した利用者には、時々訪問している。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人や家族の話等から把握に努めています。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人、家族又は関係事業者等からの連絡により、サービス利用の経過の把握に努めています。必要があれば医療機関からの指導に努めています。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日中の状態はもちろん、夜間帯は夜勤者の申し送り等により、看護師からの申し送り等により、心身状態の変化には特に気配りをしています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	現状を見ながら、ケア会議等を開催し、チームでの意見をまとめ、より良いケアのあり方に努めている。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	その時の状態の変化に即した対応をする様努めている。計画も見直しながら、現状に即したサービスを心掛けている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の状態や毎日のバイタルの変化が把握できる様、記録し情報を共有して実践に活かしています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	同施設の中での、一階、二階のユニットとの交流デイサービスとの交流を計りながら出来るだけ柔軟な支援を行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティアの派遣、消防訓練実施等、協力を依頼し、支援に努めている。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の意向により、病院受診、床屋さんへの対応等、他のサービス事業者を利用しています。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターとの協働までには至っていない状況。	○	今後、必要に応じて協働に努めていきたい。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	病院受診する際は、状況等を連絡し、受診後の報告もしています。かかりつけ医は前もって家族と相談の上、決定しています。変更の場合はすぐ家族へ連絡をとります。受診の際は適切な医療を受けられる様、バイタル表、日誌等をコピーして、持参し、担当医へ報告しています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	<p>今後は、より細かに情報交換、対応を検討する様、話し合いを持ち、変化に備えていきたい。</p>
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	1人1人の誇りや、プライバシーを損ねるような言動は特に気をつけています。個人情報の取り扱いも特に気をつけて対応しています。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	買い物等、外出する機会も、レクの一環として計画しております。その際、買い物をして、支払いまでその人に合わせた対応を	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の生活暦や現状を考慮し、その人のペースにあわせた過ごし方で対応しています。ストレスが溜まっていそうな感じが見える場合は、「散歩はありますか？」と促しながら支援に努めています。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	理容、美容は本人の望む店にいけるように支援しています。朝、起床して食事を済ませながら化粧をして身だしなみを整えている方もいらっしゃいます。ステキ、とかきれいとか言葉かけをして、支援しています。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の合間等に「こんなものが食べたい」とか、チラッと会話が聞かれることがあるので、以前にすきだったものとか、なるべく取り入れるようにしています。後かたづけも出来る方は片付けてテーブルを拭いてくれたりしています。	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	好き嫌いを考慮したメニュー作りをしたり、お酒等も本人の状態やかかりつけ医の意見を聞きながら、楽しめるように支援しています。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	改善の努力はしているが、夜間はおむつ対応の人もいます。排泄のパターン、習慣を見極めて気持ちよく生活できるように支援しています。	○	状態を観察し、話し合いを持ちながら、良い結果につながる様に取り組みたいです。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的には毎日入浴するようになっていきます。その中で個人の希望、状態等を考慮して入浴を楽しめるように努めています。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	より良く休める様、状態等を考慮に入れた環境づくりに努めています。歩行困難で長く車椅子に座っている状態にならないよう、手を取り歩行訓練や食後ベットで休ませる等、考慮している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	書道や手芸等その人に合った楽しみ方が出来る様、材料の準備、雰囲気作り(他の人も一緒にやりたくなるような)をして皆で楽しめるように支援に努めています。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	小口現金として、受診やその他のために全員預かっています。その中でも、自分で持っていないと、心細いという方もおりますので、家族と相談の上、出納帳に渡したことを記録し、渡しています。買い物も自軍で行います。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外出は週二回以上行っています。希望がある場合は、希望にそえるように支援しています。散歩したり、外でベンチに座り、おしゃべりをしています。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	週一回ドライブを計画しています。公園や道の駅、季節に合わせた花見とか、楽しみの機会をつくるように考慮しております。車椅子の方が家族と一緒に墓参りがしたいということがあります。リフト車で送迎して、事を進めることが出来ました。できることの支援を努めております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙を預かり、投函したり、電話の引継ぎも希望により行っております。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族や知人の訪問は本人はもとより、施設も大歓迎です。お部屋でゆっくりとお話していただくもよし、ホールもよし、また、事務所のほうでもよし、ゆっくりとお話できるように案内しております。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体的拘束、精神的拘束、をしない様、全職員に徹底して理解させケアに望ませています。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	努力はしていますが、徘徊する方がいる為、ホール出入口は鍵をかけております。居室は鍵はありません。	○	利用者の状態を見ながら、鍵をかけないケアの取り組みに努めていきたい。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中、夜間を通して、目配り、気配りをしながら安全に配慮しています。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	細かいリスクマネジメントについては、考慮が必要かと思われる。	○	リスクマネジメントの取り組みをかためていきたい。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	カンファレンスを行い、対応法の一律を図り、事故防止に努めています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	連絡対応は出来ているが、応急手当、初期対応の訓練はやっていない。	○	救急救命指導員の資格を持つ職員がいますので、早い時期に応急手当の訓練等を実施したいと考えています。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災については定期的に訓練を行っている。		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	状況に応じ、リスクが起こり得ることを話し合い家族にも説明し、心配り、目配りをして、対応しています。本人はいつでもどうり生活していただくように配慮しています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	バイタルや顔色、体調の変化には、気を使って、早期発見に努めています。バイタルの変化が見られた時は、看護師に再度水銀計で測ってもらったりしています。情報共有においても、申し送りをきちんと把握する様努めています。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の目的と用法、用量は、職員1人ひとり、確認するようにと、服用の飲み残しはないか、確認する様、指示しています。併せて記録もする様にと努めています。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘の予防にと、水分を多くとるように水分チェック表に記録しています。きなこ牛乳を混ぜるとどうか。バナナと牛乳とかいろいろ工夫しています。家族の協力もあり、スギナ茶とか持参してもらったり、体を動かすように散歩をしたりいろいろ取り組んでいます。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、声かけ誘導し、歯磨き、うがいを実施入歯の方は夕食後外して洗浄します。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1日の水分量、食事量をチェックし、摂取状態の把握に努めています。栄養バランスもなるべく摂取していただかなければメニューを考えてもだめなので、自分で食事を取られた後介助しながら、残さないように支援していきます。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	時期にはインフルエンザ等の流行等ありますが、外来者、職員、入居者全員手洗い励行を実行しております。ノロウイルスも手すりの消毒、食器、手洗い、常に気をつけています。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材は業者からの配達で調達しております。職員が冷蔵、冷凍庫に分けて保管しております。調理器具は手洗い後再度、食器洗浄機にかけます。食器も同じです。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関前に花等の植物を植えたりして、庭の駐車場の周りにも畑を作ったり、絶えず花があるように心掛けています。現在なすが実をつけています。外へ出て、利用者様が収穫しています。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を取り入れるために、季節の花を活けたりしています。空間も生活感を取り入れたりするものについても考えています。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	自分の気に入っている場所や席を考慮して過ごしていただいております。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際、又は入居後でも今まで使っていたもの、使い慣れたものを活かして今までの生活の延長となる様に、本人も別のところと感じない工夫と環境づくりに配慮しています。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気を常に行い、エアコンの調整もこまめに調節するように指導しています。暑すぎず、寒からず、少し暖かい位にと話しています。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりの設置、車椅子も自由に動かすことが出来る、トイレも車椅子対応、トイレもくず近くにあることで、手すりで1人でも行けるようになっています。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	自分の部屋やトイレの場所も勘違いすることもあります。目印は張り紙等して混乱を防ぐように工夫しています。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	草取りや、野菜、草花を育てて楽しみを見つける工夫をしています。		

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

毎日のレク、リハ、食事、おやつ等、予定をたてて実行に結びつけております。レク、リハも最初は参加しない人もいたのですが、少しずつ参加してくれています。食事も毎日美味しくいただいて下さる様に、メニューも聞き取りをしながら、職員が考えて発注しています。